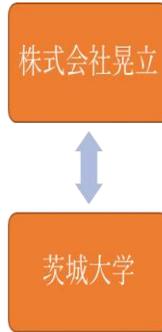


アパレル企業が、自然食品の販売にチャレンジします！

事業者名	株式会社晃立
所在地	児島柳田町2475番地1
主な業種	繊維製品加工業
事業概要	学生服製造 カジュアル衣料製造
支援機関	株式会社百十四銀行

産学連携による
『干し芋』の研
究・販売



EC販売から
海外販売を目
指す!!

既存のアパレル事業に依存しない 収益構造の構築

- 当社は岡山県倉敷市（児島）に本社を置く、1963年創業のアパレルOEM製造業者です。児島の地場産業である学生服とジーンズカジュアルの生産工場です。
- 学生服の女子スカートのプリーツでは、全国でもトップのシェアを誇ります。児島のジーンズ業界でもデニム加工の排水削減に取り組むなどサステナブルな生産への市場ニーズにいち早く対応してきました。
- 既存のBtoB取引では業界ニーズの変化に対応できず、また、コロナ状況下で販売店が次々に廃業となっていていっている状況ではアパレルの販売が著しく落ち込んでしまいます。
- 既存事業のアパレルについては、さらなる深掘りを進めながら、新規事業として、アパレルの外部環境に左右されない収益構造の構築を目指し、自然食品の販売にチャレンジします。

産学連携で取組、『干し芋』を 健康・美容食品として販売

- 健康や美容効果を期待させる一般食品が、「機能性表示食品制度」をきっかけにコンビニやスーパーなどに並び、消費者にとってより身近な存在になりました。
- 体内の余分なナトリウムを排出し、むくみの解消や高血圧の改善に期待がもて、さつまいもの2倍の食物繊維が含まれている「干し芋」に着目しました。
- 産学連携で取り組み、『干し芋』の成分分析を行い、健康・美容成分を定量的に表すことで健康・美容食品として一般消費者に販売する。
- 既存事業は、自分がかっこよく、また、かわいく見せたいという承認欲求を満たす事業であり、今回挑戦する事業分野も美容や健康をテーマにしているため、共通する部分があります。干し芋そのものをPRするのではなく、美容や健康に干し芋が効果的であることをPRします。

既存で培ったブランディングを活用し、EC販売から海外販売を目指す

- 既存事業で培ったブランディング力を活用し、次のように商品開発を行っていきます。
- まず、干し芋を家庭や職場で手軽に食べられるように、干し芋特有のベタベタ感が手につかない様に食べやすいサイズに切ったものを個別包装にしてEC等で販売します。
- 次に、市場に出回っている既存の干し芋との差別化を図るため、特定の商品名を付け健康・美容食品としてブランド化します。パッケージラベルも干し芋と記載せず、ブランド名を大きく記載したものとします。
- そして、宣伝広告はファッション誌やライフスタイル誌を想定しています。SNSも活用して宣伝します。
- 最終的にはアメリカのスーパーマーケット「ホールフーズ」での販売を目指します。